

人手不足に対応する生産性向上手法

グローバルな視点から AI/IoT/RPA を活用して生産性を高める手法を学ぶ

●プログラム●

◆日時：2018年11月1日(木) 13:00~17:00

◆会場：東京・麹町 「企業研究会 セミナールーム」

◆講師：城ヶ崎 寛 氏

城ヶ崎 経営研究所 代表コンサルタント 博士(システム情報科学) 中小企業診断士

コンサルビューション(株) パートナー コンサルタント

【略歴】

公立はこだて未来大学博士後期課程 2017年3月修了

早稲田大学理工学部電気工学科 1987年3月卒業

中小企業診断士 2008年4月資格取得

IT企業経験約30年、1987年から11年間日本アイ・ピー・エム株式会社勤務。直近では、2008年より日本アイ・ピー・エムにて自動車メーカー向け日本全国の本社および関連会社のITインフラ関連のプリセールス担当、2011年よりインドのIT企業タタ・コンサルタンシー・サービス・ジャパンにて、総合商社向けグローバルインフラ構築及びヘルプデスク構築支援プロジェクトのプリセールスを担当、2013年11月より、英国IT企業にてベトナムオフショアリング事業の日本事業創業責任者、

2016年7月より現職 2018年2月外務省ロシア日本センター主催セミナーにてモスクワ、サンクトペテルブルク他合計5都市にて「経営革新におけるプロジェクトマネジメント」講義

2017年11月末より東京にて、外務省主催ロシアIT企業22社向け訪日研修の主任講師を担当

2017年JICA事業南アフリカ熟練工育成推進プロジェクトにて、専門家として詳細計画策

2017年中小製造業15社に対して経済産業省助成金申請支援プロジェクトマネージャー担当

共同著作：「ロイヤルティ・マーケティング」他多数

博士論文：「人の感性に着目したスマートデバイスによるセンシング方式の研究

(Emotion-focused methodology for smart device sensing)

●参加要領●

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

*当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からお申込みいただけます。

●受講料● 1名(税込み、資料代含む)

正会員	34,560円 (本体 32,000円)
一般	37,800円 (本体 35,000円)

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→

〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

一般社団法人企業研究会

担当：村野 E-mail murano@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2

MFP R麹町ビル 2F (旧 麹町 M-SQUARE)

TEL 03-5215-3512 FAX 03-5215-0951

181638-1113	※2018. 11. 1 人手不足に対応する生産性向上手法		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

人手不足に対応する生産性向上手法

グローバルな視点から AI/IoT/RPA を活用して生産性を高める手法を学ぶ

【開催主旨】

日本国内において、特定分野の人材不足は深刻となってまいりました。特に企業の第一線の現場の労働力不足は経営に大きな影響を与え始めています。また、米国のGAFA+M（Google, Amazon, Facebook, Apple, Microsoft）の勃興により、グローバルな経営環境がAI(Artificial Engineering) /IoT（Internet of Things）/RPA(Robot Process Automation)の観点からも大きく変化しつつあります。顧客ニーズも「もの」を求めた時代から、「コト」を求める時代に入り、ダイナミックに変化しています。

今回は日本の主要な産業で取り組みが開始されている最先端のIT技術であるAI/IoT/RPAの活用の視点からの生産性向上に結びつける手法を紹介します。

1. 現状の課題及び変化するニーズへの対応

- (1) 人手不足の現状
 - ・これまでの政府および民間企業の対応
- (2) 変化するニーズ
 - ・「ものの消費」から「コトの消費」へ
 - ・多品種少量から、マスカスタマイゼーションへ
 - ・ドメスティック対応から、グローバル対応へ

2. AI/IoT/RPA の技術動向

- (1) デジタル化により変化する企業経営
- (2) AI（人工知能）・機械学習・深層学習（ディープラーニング）
- (3) スマホで理解するもののインターネット（IoT）とロボット・プロセス・オートメーション（RPA）

3. AI/IoT/RPAを活用した生産性向上策

クラウドコンピューティング/IoT/AI/RPAを活用した生産性の向上の実例

4. オフショアアウトソーシングを活用した生産性向上策

オフショアアウトソーシングを活用した生産性向上の実例

5. まとめ